

# 4

## 事務事業の効率化などで経費を削減

■80億円の経費削減効果を

平成16年度の予算・定数・機構編成では、厳しい財政状況を踏まえ事業の見直しを行うとともに、現在取り組みを進めている事務事業の総点検と連動させて、約80億円の経費削減効果を生み出しました。その主な内容は次の通りです。

### 人員削減

主な項目

- ◎地下鉄駅業務の委託を拡大
- ◎市営バスの民間移譲
- ◎学校給食調理の委託を拡大

削減効果  
約450人  
約34億円

### 事務事業の効率化

主な項目

- ◎市長交際費の見直し
- ◎各団体などへの補助金の見直し
- ◎光熱水費などの節約

削減効果  
約37億円

### その他

主な項目

- ◎職員給与の調整手当の見直し
- ◎退職手当の支給率の見直し

削減効果  
約9億円

詳細

市役所改革推進室 ☎211-2061

# 5

## 市民の声を反映し市役所改革を進めます

### ■市民の視点による市役所改革の提言

昨年11月、公募市民10人を含む15人の委員から成る「市役所改革市民会議」が発足しました。これまで、区役所職員との意見交換会を交えながら、活発な議論を展開。市民サービスやコミュニケーション（意思の疎通）のあり方などの議論を通じ、市役所改革にはまず市民との信頼関係を築くことが大切として、すぐにでも実践すべき「サービスの向上」を求める提言がありました。今後、9月の最終提言までに2・3回の提言が予定されています。

### ■4月から行動を起こします！

市民会議の提言を受け、市では、市役所改革の第1歩として、まずは「市民サービス」を向上させるための取り組みを市役所全体で進めます。

あいさつの徹底、名札の着用、親切な対応など、職員一人ひとりが市民の皆さんとの信頼関係を高めるよう努めるとともに、中長期的な検討を要するものにも着手。「市民のために！挑戦する市役所」を実践し、市民の皆さんの目に見える行動を起こしていきます。

詳細 市役所改革推進室 ☎211-2061

# 6

## 市民の皆さんと一緒に進める市政運営

厳しい財政状況がこのまま続くと、現在の行政サービスを維持することは極めて難しくなります。今回、内部努力と事務事業の効率化で80億円を削減しましたが、市役所全体が一丸となって、今後もさらなる経費の削減に努めていきます。

しかし、内部努力だけでは解決できない状況にあることから、行政サービスの水準や範囲、市民負担のあり方などについて、市民の皆さんと十分議論していかねばなりません。

今後も本誌をはじめ、さまざまな形で市が抱える課題などをお知らせしていきます。市役所の仕事の「どの部分を充実させ、どの部分を変えていくか」を、ぜひ市民の皆さんも一緒に考え、その声をお寄せください。